

【研究課題名】 先天性心疾患術後の肝腫瘍・肝細胞癌の患者の臨床検体(組織や血液など)を用いたゲノムプロ ファイリングに関する研究

【対象】

先天性心疾患に対する手術を行われた患者のうち、術後の遠隔期(約 15 年～25 年後)に肝腫瘍・肝細胞がんを発症し治療を行われた患者様

【目的と方法】 肝腫瘍に対して外科的切除や放射線、抗悪性腫瘍薬による治療がなされた患者を対象に、腫瘍組織ならびに非腫瘍組織の遺伝子プロファイリングを行うことにより、先天性心疾患と腫瘍発生メカニズムの解明、治療効果および合併症と関連する遺伝子変異などの遺伝子異常を同定することを目指している。

【研究に用いる試料・情報】

腫瘍組織、ならびに非腫瘍組織の遺伝子プロファイリングを行う。

【研究に関する利益相反】

なし

【外部への試料・情報の提供】

データセンターへ匿名化して情報提供を行います。対応表は当院の研究責任者が管理します。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

兵庫県立がんセンター消化器外科 田中基文